



チームワークが光った臨時休校日 —安心・安全な学校を目指して—

保護者の皆様、地域の皆様、いつも本校の教育活動へのご理解と温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

本日、6月24日(水)。長崎県南部への「警戒レベル4」の発令に伴い、長崎市内一斉の臨時休校措置がとられました。本校がある池島は長崎市の北端に位置するため、当日はレベル3の県北部地域に近い状況となり、幸いにも大きな災害や心配された事態は回避することができました。フェリーも通常通り運行しており、島内は「いつもより少し雨が強い日」といった様子で、まずは胸をなでおろしたところです。

しかしながら、長年使い込まれ、老朽化が進んでいる校舎内は、今回の激しい雨の影響を大きく受けることとなりました。

その緊迫した状況の中で光ったのが、本校の教職員の素晴らしい連携です。

朝、出勤してすぐに教頭が校舎全体の巡視を行い、被害の概要を迅速に把握しました。その後、勤務時間の開始と同時に的確な指示が出されると、教職員はすぐさま分担して校舎の安全点検へと動き出しました。

3階や2階のいくつかの教室で雨漏りが発生していましたが、全教職員が手分けをして、濡れた床の拭き上げやバケツの設置といった対応に当たりました。自校のことながら、この時の職員の「チームワーク」「フットワーク」、そしてお互いを支え合う「ネットワーク」の3つのワークには、目を見張るものがありました。

この「3つのワーク」は、まさに本校のかけがえのない財産です。子供たちの安全を守るため、誰一人としてためらうことなく迅速に行動してくれた頼もしい教職員には、感謝の言葉しかありません。

今回は臨時休校となりましたが、学校はいつでも子供たちを安全に迎え入れる準備ができています。これからも教職員一同、心を一つにして大切な子供たちの安心・安全な学校生活を守ってまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。